

## 岐阜県立加納高等学校

学校長 高田 広彦  
学校住所 岐阜市加納南陽町3丁目17番地 電話 058-271-0431

- 1 会議の名称 ゆめ会議かろう(学校評議員の会) (第1回)
- 2 会議の構成
- |    |       |                       |
|----|-------|-----------------------|
| 委員 | 佐藤 昌宏 | 岐阜大学教育学部美術教育講座教授      |
|    | 志知 正博 | 加納西自治会連合会副会長          |
|    | 中村 規子 | 特別養護老人ホームナーシングケア加納施設長 |
|    | 伴 幸洋  | P T A副会長              |
|    | 古田 直樹 | アピタ岐阜店店長              |
- (委員名は五十音順)
- 学校側
- |       |        |
|-------|--------|
| 高田 広彦 | 校長     |
| 小川 恵美 | 事務部長   |
| 松野 晶信 | 教頭     |
| 佐藤 尚史 | 教頭     |
| 小枝 千穂 | 教務部長   |
| 山田 理嗣 | 生徒指導部長 |
| 篠田 和明 | 総務部長   |
| 中川 博文 | 総務部係   |
- 3 会議の目的 本校の学校運営や教育活動等について地域社会や有識者等から幅広く意見を聞き、生徒・保護者等の期待に応えられる開かれた特色ある学校づくりの推進に資する。
- 4 会議の開催 令和元年6月6日(木) 13:30~15:00 本校 校長室  
委員3名(佐藤氏、志知氏、伴氏)と学校側6名(校長、事務部長、教頭、生徒指導部長、総務部長、総務部係)が出席
- 5 会議の概要 授業見学をした後、本校へのご意見をいただく

(1) テーマ 授業見学の感想・意見

- 意見 1 ・英語の授業が昔とまったく違うことに驚き、感心した。教科書もきれいな良いものになっている。先生が英語で授業を進め、指示も英語でしていたが、この時間内は全て英語なのだろう。発音がとてもきれいだったし、生徒にとってはスリリングだと思う。生徒も、とても一生懸命取り組んでいた。美術科の制作の様子も緊張感を感じた。生徒ひとりひとりの表現が、多様なイメージにより進められていた。受験のための準備もあるだろうし大変だと思う。
- 意見 2 ・規律がとれすぎていて、生徒がおとなしすぎる印象をもった。登下校の様子を見てもそれを感じる。美術科や音楽科の生徒たちの、自発的に自分の道を見つけ、行動できる姿勢はよいと思う。
- 意見 3 ・昨年度、お世話になった時、職員・生徒共に大変協力的であったことに感謝している。優しくあたたかい雰囲気がある学校だと感じた。そうした雰囲気は伝播するものなのだろう。生徒が学校を好きであるなら、いい学校であることに間違いはないと思う。

(2) テーマ 本年度の教育活動について

- 学校長より (マニフェスト)
- ・高い学力を養うこと、文化を尊重する校風を醸成すること、高い道徳観と倫理観を培うことが、教育目標の3本の柱である。21世紀を生き抜いていくためのリーダーとなる人材を育てるのが目標である。
  - ・学習指導では、分かって力がつく質の高い授業を目指し、総合的な学力の養成を図る。生徒の評価をフィードバックさせ、学習目標時間の達成を目指し、大学合格者の目標数をクリアしていきたい。
  - ・生徒指導では、安全・安心な学校づくりを目指し、清潔で品位のある生徒を育成する。時間を守り交通安全に注意を払わせること、教育相談に関する職員研修を充実させて生徒理解に努めることにより、目標を達成していきたい。
  - ・特活指導では、所属意識の高揚を図っていく。部活動においては、多くの生徒が入部をしている。目標は85%の加入を目指す。
- 意見 1
- ・部活動の全体の加入率も大切ではあるが、加入していない生徒が、自分の意志で、自分の好きな分野でがんばれば、部活動加入率85%以上にこだわらなくてもよいのではないかと思う。
- 意見 2
- ・生徒には明確な人生の目標を持っているのだろうか。大学は、まず、将来の目的があって行くべきところ。大学受験に合格することに重点を置かれた授業を展開されているが、まずその点をしっかり押さえているかが大切である。
- 学校長
- ・将来のライフプランと進学先の大学の関係について、各学年に適した探究活動を、FID等の時間を利用して取り組ませたい。また、社会に出て一番大切なのは、「生きる力」であり、特別活動や部活動等でバランスよく育てていきたい。
- 意見 3
- ・ボランティアなどへの取り組みが、とても大事で効果的でもあると思う。
- 学校長
- ・今年度の1年生は、地元のことを地域の関係者から調べまとめていく、課題探究学習に取り組む。具体的には、校外に出て行き、話を聞くなどの活動を計画している。自主的に学ぶ姿勢やペーパーで計れない学力が必要となり、効果を期待している。
- 意見 4
- ・企業が求める人材を聞いたところ、専門知識などではなく人間性に重きを置いている。生徒はどんな大人になりたいのか機会があれば聞いてほしい。子どもの目に大人がどう映っているかが大事である。将来への夢や希望を、高校時代にどれだけ持てるかが大事だと思う。21世紀のリーダーとは、具体的にはどんな姿、人間なのだろうか、それについて明確なビジョンをもたせられるとよい。
- 意見 5
- ・多くの生徒の中には必ず自己肯定感をもてない生徒がいると思うが、そういう生徒に対してのフォローもお願いしたい。
- 学校長
- ・そのような生徒に対しては、教育相談を中心にして、スクールカウンセラーの力もお借りし、個々の生徒のあった指導を探りながら対処していきたい。

(3) テーマ 校則について

- 生徒指導主事 ・生徒心得についてご意見をいただきたい。今年度4点削除。1)夜10時以降の外出禁止 2)生徒だけで宿泊を伴う旅行の届出 3)校内での集会などの許可 4)世論調査、実態調査の許可 など学校管理下外は原則規制しない方針で削除した。
- 意見 1 ・校外の活動には干渉しないということか。しかし、あえて表示してやらないとわからない子もいるかと思う。
- 学 校 長 ・県としても、学校管理下外は極力規制しない方針で進んでいる。したがって、本校でも、原則として、ご家庭では保護者の責任のもとで行動していただきたい。また、何かトラブル等あれば、従来通り学校で対処し、指導する。
- 意見 2 ・ルーズソックス、レッグウォーマーという表示を見ると時代を感じるが、必要か。
- 生徒指導主事 ・レッグウォーマーは昨冬にも注意をした。今はハイ・ニーソックスが制服とマッチせず気になる。
- 教 頭 ・何かお気づきの点があれば、7月頃までに生徒指導部長にご連絡をいただけるとありがたい。
- 意見 3 ・人に迷惑をかけないなどの基本がちゃんとしていれば、自分で判断を下せることも大切だと思うので、細かい校則はなくてもいい。
- 教 頭 ・PTAや評議員の皆様のご支援をいただきながら、さらにより学校にしていきたい。
- 意見 4 ・生徒側の意見を聞く機会はあるか。
- 生徒指導主事 ・生徒会と協力をし、昨年も防寒着についての意見を聞き、話し合いをもった。今も夏服時の上着についての検討をしている。
- 意見 5 ・我々の会社でも同様の例があるが、上から押しつけたルールでは決してうまくいかない。みんなで決めて納得することが大事だと思う。
- 6 会議のまとめ
- 教 頭 ・貴重なご意見を、日頃の本校の教育活動によりよく生かしていきたい。次回第2回は来年2月に開催予定である。9月にある白梅祭にもお越し願いたい。